

茂原市学校再編だより

《 豊 岡 地 区 版 》

住民意見交換会編

令和3年7月発行

学校再編に関する住民意見交換会について

茂原市教育委員会では、「茂原市学校再編審議会」で審議された具体的な学校再編案をもとに、再編の対象となっている本納、新治、豊岡、五郷地区を対象として、住民意見交換会を開催しました。配布資料や議事録、提出された意見等については、教育総務課ウェブページで公開しております。

当日の意見等については、学校再編審議会に報告し、『第二次実施計画』に関する答申に向け審議していただき、令和3年6月25日に審議会会長から教育長へ答申書が提出されました。

答申書の詳細や審議会の議事録等については、教育総務課ウェブページで公開予定です。

豊岡地区の開催概要について

日 時：令和3年5月15日(土)14時～、19日(水)19時～

場 所：豊岡小学校体育館

参加者：5月15日(土)35名、5月19日(水)15名

※当日の主な意見等について

〔令和3年5月15日(土)〕

- | | |
|-----|--|
| 住民 | 豊岡小学校は自然豊かで、教育環境は素晴らしい。新しい本納小学校の場所は、水害やガスの心配がある。本納小学校との統合に反対する。また、地区住民に対する説明も不十分で、住民が納得できるよう進めてほしい。 |
| 事務局 | 学校再編審議会から、豊岡小学校の統合については、令和8年4月1日までに統合という案が示されたので、この案について皆様のご意見を伺うため、この会を催している。 |
| 事務局 | ガスの問題については、ガス警報器を設置する。また、壁面に通気孔を設けるなどして、自然に換気されるようにする。水害については、警報が出た段階で臨時休業にするなどし、大雨の中を子供たちが登下校することはないようにする。 |
| 住民 | 安全な豊岡から、不安材料がある本納へなぜ行かなければならないのか。小中一貫校の教育概念にすべて否定反対するものではない。子供たちの教育環境を第一に考えるのであれば、災害のないところで教育を受けられるようにしてもらいたい。 |
| 住民 | 電車の音、水害の心配がある本納へ行くことには反対である。豊岡から役場や幼稚園などがなくなってしまっている。人数が多いと運動会やクラブができると言っていたが間違いだ。スクールバスは、乗り遅れたらどうするのだ。 |
| 事務局 | スクールバスを利用するとなった時は、停留所ごとに乗車する人員を確認しながら運行する。乗川(のりかわ)の工事については、南白亀川水系の赤目川と一緒に進捗を図る。 |
| 住民 | 新しい本納小学校は3階建てであるが、非常階段はつかないのか。 |
| 事務局 | 救助袋の場合は、どのように避難するのか。 |
| 事務局 | 非常階段はつかない。避難経路は内部階段の他に、2階と3階に斜降式の救助袋を設置する。救助袋では、南側のスペースに降りて、道路に出て避難する。 |
| 住民 | グローバル化、IT化が進む中で、どのような教育を行っていくのか。子供たちの意見を聞いてほしい。学校などは地域の核である。住民の不安を払拭する計画を示すべきだ。いつまでに統合するだけでなく、住民が描けるような計画を策定してほしい。 |

事務局	外国語活動（３年生・４年生）、外国語科（５年生・６年生）においては、外国人指導助手をすべての授業に配置している。ICT教育ではGIGAスクール構想により、一人一台に配られたコンピューターを活用しながら、ICT教育を進める。
事務局	主体的・対話的で深い学びを意識し、一人一人に力がつくように支援していく。
事務局	二宮と緑ヶ丘小学校の統合については、アンケート調査をした。継続してアンケートを実施していく。本納に関しても、統合前後でのアンケートを考えている。
事務局	基本的な小中学校の跡地利用は賃貸を考えている。避難所としての機能は残す。
住民 事務局	豊岡以上の環境に行くのであれば納得する。豊岡を残してほしい。 新しい校舎の内覧会を行う。実際に見てもらおう等、情報提供したい。
住民 事務局	統合自体が駄目とは思わない。環境に恵まれたこの学校をこのまま継続すべき。本納中学校体育館脇のフェンスの改修をお願いする。 必要な修繕箇所は対応していきたい。
住民 事務局	本納地区の防犯状態が非常に悪く心配である。豊岡は、地域の方々が協力してくれていると感じるので、統合には反対する。 令和７年の児童生徒数を住民基本台帳でみると９７人である。前回のアンケート調査で、豊岡小学校で積極的に統合すべきであると回答された割合は６１．３％であり市全体と比べ低い。今現在というよりは先を見た中での今回ご意見を伺っている。 防犯の関係は、学校の方において、子供たちが安全に生活できるよう安全教育をする。
住民 事務局	本納ニュータウンを見込んだ令和８年の本納地区の児童数は２７０人で１１学級である。本納中の空き教室を活用して、小学校高学年が行くとしても可能か。 本納小中学校の教室数は２４あるので足りる。小学生が中学校の教室を使用することも検証し、対応できると判断している。
住民 事務局	乗り入れ授業や水泳学習で格差が出てこないか。 資料が一部間違っており、各３小学校は同じ数、同じ授業に乗り入れる。水泳は、専門的な指導を受けることができ、内容も充実すると考えている。
住民 事務局	特色ある教育とはどういうことか。 小中一貫教育である。小学校６年間と中学校３年間の学習のつながりを今まで以上に考えて指導していく。行事もできるだけ一緒に取り組む。
住民 事務局	シューターはどこに降りるのか。道路からグラウンドへ避難するのを小学生にやらせるのか。北門から小学生が入るのは危険ではないか。駐車場は保護者が利用できるのか。 シューターは内覧会を実施した際に見てもらいたい。避難は階段が早い。階段で降りられなければシューターを使う。平常時から訓練をしておく。駐車場は保護者の利用も想定している。児童が降りた場合、雨の日でも歩道（グリーンベルト）を通れるようする。混雑しないよう（小中学校で）時間帯など、ご協力をいただきたいと考えている。
住民	水害の心配がある本納で統合することに反対している。豊岡小学校で本納小学校と新治小学校を受け入れるので来てほしい。

〔令和３年５月１９日(水)〕

住民 事務局	学校再編には反対していない。なぜあの場所に本納小学校を建設するのか。水害や鉄道の騒音が心配である。小中一貫教育とは具体的にどのようなものか。 第一次実施計画で、３小学校を統合し特色ある教育を推進するとなった。また、本納小裏の崖が土砂災害警戒区域の指定を受け、子供たちの安全を確保してほしいとの要望もあった。市の計画とも合致していたので、既存校舎との連携も考えて決定した。また、周辺の整備等も行い、安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。水害対策としては、茂原市全体で統一した基準を定め、大雨警報や洪水警報が出た場合は臨時休業とすることとした。小中一貫教育は、小中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、９年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を行うことである。
-----------	--

住民 事務局	遊具整備はどのようになっているか。 プールを撤去して、小学生が使える遊具を設置する。
住民 事務局	グラウンドで小学生がのびのびと遊べないのではないか。 小学生は遊具も使える。グラウンドは一緒に遊ぶこともできる。協力し、譲り合いながら一緒に使っていく。
住民 事務局	具体的に子供たちのためにする特色ある教育というものを説明してほしい。 中学校の先生が小学校へ行き、専門的な立場から子供たちに指導する、乗り入れ授業を計画している。小学校の先生が、中学校へ行って教えてあげる等のきめ細かな指導も、できる範囲で進める。
住民 事務局	特色ある教育を、保護者の皆さん方も納得するような方針を出してくれ。 1人1台のコンピューターを使い、情報活用力をつけていく必要がある。茂原市としても専門的に教えられる人を雇い、子供たちに力をつけるよう計画していく。
住民 事務局	少子化だから統廃合はやむを得ないと思っている。二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合に対して、市当局はどのようなやり方で統合したのか。 住民との意見交換会や保護者の意見を聞いた中で、計画が策定された。その後、準備委員会で必要事項を協議した。
住民 事務局	なぜあの場所に小学校を建てなければならなかったのか。豊岡小学校は、教育環境も素晴らしい。 本納中学校の存続について議論され、存続することが結論として出た。小学校3校を統合したときに、中学校付近がいいだろうとなったが、良い土地が見つからない中で、中学校の余剰教室の利用や特別教室の共用を考え、中学校敷地内とした。
住民 事務局	豊岡小学校には余剰教室がある。なぜそれを有効活用しないのか。予算の無駄遣いではないか。 本納地域の中心は本納中あたりになり、新治から豊岡への通学は遠い。また、豊岡小学校は今後大規模改修が必要となり、費用が大きくかかってくる。
住民 事務局 事務局	中学校に統合されたとき教室が少なく、女子児童の着替えはどうするのか。また、新しい校舎に入れられない学級数になった場合の対応は何か決まっているのか。 小学校の学級数が増えた場合は、高学年が中学校校舎に入る想定である。 更衣の場所は、教室を割り振ったり、中学校の更衣室を利用することも可能であると考える。
住民 事務局	学年2学級にしたいから統合するというのに、新校舎は8教室で、2学級になれば中学校を使うという考えが疑問である。 3校が統合した場合は、本納中の校舎も含めた全体の中で、小学校を含められるという想定になっている。適正規模にならない可能性はあるが、それに近い形で維持できると見込んでいる。
住民 事務局	本納ニュータウンの児童数が予想以上に多かった場合は、豊岡小学校の統合は延期になるか。 受入可能数を超える場合は、考えなければいけない。
住民 事務局	水害で大変な本納中の場所が一番最適なのか。 過去の水害の調査等をした中で、校舎の中には水が入っていない。災害警報が発令された際には、子供たちの登下校を制限することで対応可能と考えている。
住民 事務局	父兄の方々は、水害の場所に行く気があるのか。 水害を心配する声は確かにある。スクールバスで送迎することと、学校できちっとした対応をすることで、子供の安全を守っていく。抜本的な解決は赤目川、乗川の改修であり、県に早期の改修を依頼し、市も進めていく。

住民 事務局	体育の授業で本納小学校のグラウンドを使うのか。 体育の授業は、中学校のグラウンド、体育館、柔剣道場を割り振って使っていく。本納小のグラウンドを授業で使う予定はない。部活動の使用は決めていない。
住民 事務局	プールは敷地内に作らないで、どこかへ行くのか。 プールの場所に遊具を設置する。本納小学校と中学校は、民間のスポーツクラブで水泳学習を行う。天候の影響なく、専門的指導も受けられる。
住民 事務局	本納小の移転問題が、なぜ統合と一緒にになってしまっているのか。説明会、意見交換会が少ない。もっと、地域の皆さん、子供たちの意見を聞いて取り入れてほしい。グリーンベルトが駐車場から伸びているが、北門から生徒を入れるのか。バスケやサッカーは小中学校で規格が違う。どうするのか。 統合の関係は、第一次実施計画で3校統合の方針が位置づけられ、第二次実施計画の中で、統合時期をいつにするかということを決める計画になっている。北門から生徒が入ることも想定している。また、バスケットボールのゴールは、高さが調整できるものを設置する。サッカーゴールも小学生用を設置する。
住民 事務局	本納小学校校舎建設を見て、こんなに小さいとは聞いていなかったという声がある。 PTA からの要望書では、本納中の余剰教室の利用と、足らない分は校舎を建てること記載されており、その内容に近い建設となっている。建設場所だけが小学校ということではなく、特別教室棟、体育館、グラウンドを含めて本納小という考え方である。校舎引き渡し後に内覧会を行うので、ご覧いただきたい。
住民 事務局	本納小の方たちへの説明が少ないと感じる。 非常階段がなく、階段で逃げられない場合にシューターを使う話だった。後付けで考えているとの答えだったが、学校建設の時点で考えなければいけない問題だ。 説明会が不足している点については、反省している。豊岡小に関しても、今後も丁寧に説明会を開催したいと考えている。 建築基準法では、今回の床面積であれば、階段は一つで良い。シューターを本来3階につけるのみで良いが、2階にもつけている。
住民 事務局	安心安全が最優先にならなければいけないので、非常階段は付けていただきたい。できない理由があれば言ってほしい。 設置できなかった理由を確認する。※下記「非常用階段について」参照
住民 事務局	中学生たちが、本納小を迎える気持ちができていないか。中学校でも説明しているか。 本納中学校の生徒に向けて、先生方から話をした。また、アンケートもとった。子供たちの声を聞いて、対応できることについては対応している。

○非常用階段について

新たな校舎は、3階建てで主要構造部が耐火構造であり、各階の居室部分の床面積が200㎡を超えないことから建築基準法の規定に基づき、施設内の階段（直通階段）は1箇所とし、非常用階段は設けておりません。直通階段以外の避難方法は、斜行式の救助袋を2階及び3階に設置し確保しています。また、新たな校舎は耐震性が高く、階段付近には防火扉を設置しています。

【お問い合わせ】	茂原市教育委員会 教育総務課 学校再編推進室
	電話：20-1557 FAX：20-1607

